
絶望ごときがでかい顔するな！

aki_c

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

絶望ごときがでかい顔するな！

【Nコード】

N9844P

【作者名】

akic

【あらすじ】

なんというか練習です。書き方が確定したら本格的に長編に移します。ジャンルはSFファンタジー。調子に乗ったらロボットアクション？

（前書き）

興味を持ってしまった方はごめんなさい。まだ作成途中であります。どんな風に書けば見やすいのかな…と。

文字の大きさも変えられるのかな？プロローグというか実験というか。納得がいくようになったら長編に移して書き始めようと思っています。あと、何かこうして欲しいってところあったら書いてもらえると助かります。

僕はリアルスーパーマンを何人も知っている。例えば週に8つ習い事をしながら塾に通い、独逸《ドイツ》語を勉強しながらどうやってか土曜日だけは友達と遊ぶ時間を作ってるのに、そのまま医学部に入ってしまったやつとか。

その癖趣味は読書で、スターウォーズの新刊を楽しみにしてたりする。一度だけ他の友人と雪合戦なんかをしてる時に流れ弾が歩き読みしていたやつの本にぶち当たって、ぼこぼこにされた事もあった。一応自分も格闘技を少しかじっていたが自分が一方的に悪いのでごめんなさいしようとしたら速攻で距離を詰められて上段突き。それをぎりぎり左手で弾いた…瞬間にその左手を？《つか》まれて体制崩されて、叩きつけられて…3秒どころか瞬殺でした。ありがとうございました。僕に初めて敗北記録がついた瞬間でした。いや不意を衝《つ》かれたのもあったんだけど…その時は中学生で体重でいったら自分のほうが10kgは重かった。たぶん。そのくらいはウェイト差があったはずなんだがね？

その後、汚してしまったスターウォーズを弁償して（スターウォーズなんて置いてる店は意外と少ない。特にエピソード何チャラ以外の本は。もちろん探しに行きました）ザ・サイドとかウィザブレとか…色々貸して洗脳して仲直り。ちなみに2日くらいかかりました。そう2日。何が言いたいかって言うとな？週8つ習い事しながら塾行きながらやつはシリーズ物（当時は計8冊くらいだったと思う）を2日で読んだという…一番尊敬したのはそこかね。

他にもやつの逸話はいくつもある。体脂肪率を量ったら0.9%だったとか、ピアノ弾いてバイオリン弾いて、その後にギターをかき鳴らしたとか…文武両道にもほどがあるだろう…

他にもいろいろいるんだけど、こいつはぶっ飛んでるので紹介しと

こう。

こいつとは小学生のころに知り合っただけで、行動力がおかしい。いい意味でバカと言えるかもしれない。

いろんな宗教団体に入り込んだかと思えば、中学の自由発表《しゃかいをまなべてきな》で、国防を叫ぶ。

あとで聞くに、宗教団体に入り込んだのはどっかのバカ団体が毒ガステロなんかを引き起こしたので、周りの宗教団体をチェックしたから。国防を叫んだのはミサイルが日本を狙っていたからなんだとか。そのころはまだ北のミサイルは有名でなくて中学生で弾道ミサイルなんてものはほとんど知られてなかった。その後日本の真上を北のミサイルが飛んでつて冷や汗かいたね。ちなみにこいつはそのために自衛隊にまで取材にいったらしい。

共産主義も後で勉強しはじめて結論は

「実現したらすばらしいだろうけど、今の世界で共産主義の国はない。今あるのはレーニン主義でそれは共産主義ではなくただの独裁だ。」

「強いて言うなら蜂の巣とか共産主義なんじゃないか？」

だそうです。お前は一体どこへ行く。

とりあえず僕が理解してるのはこいつは日本が好きらしい。ということだけかもしれない。

少し連絡をしないといろんなところに行ってるっていうのも理解してる。

グアム行って来ただの、沖縄行っただの、インドで放浪して死にそうになっただの……

人を心配させる天才か。というか本当にどっか行ってるという……滅多に会わないというか滅多に会えないというか。

ちなみにグアムとかで銃を使えるように、インドでは中国の情報などを調べてきたらしい。

有事の際にはゲリラでもする気なんだろうか？

他にもいろいろ自分の周りにはいろいろな変人《ヘンタイ》がいるがとりあえずこの二人を紹介しておく。

特に意味は無いんだけども。たぶん。そもそもなんでこんなことを語っているのだろうか？

君にはまだ意思も記憶もほとんどないのにね？

さて。とりあえず、

「ゼファイ、スリープ。」

「エラー」

「…ゼファイ、モードチェンジ、スリープ」

「レディ、モードチェンジ、スリープ」

「スタート」

「モードチェンジ、スリープ」

今は眠れ。我が剣にして手にして、我が相棒。

（後書き）

これから壮大な馬鹿な話を始める予定。

ですがスタイルがよくわからないのでとりあえず投稿してみte調整しようと思つて投稿しました。

もつとこうしたほうがいいとかルビがあれとか誤字とかお知らせいただけたら幸いです。

1/7改修 本文に書いてた前書きを前書き部分に移行。携帯で表示すると1行11文字？らしい。どうすれば見やすいのか実験。

1/10エピソードじゃない！プロローグです。悶絶。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9844p/>

絶望ごときがでかい顔するな！

2011年1月13日04時11分発行